

事業方針	私たちは「南区民があんしんして暮らせる南区づくり」に向け、“認知症”をきっかけにし、区民・事業所・各種団体・行政が一体となって認知症の方やその家族があんしんして自宅で暮らし続けることができるよう活動を行う。また、南区独自の地域包括ケアの確立に向け、各種団体との連携を強化する。			
重点課題	1. 小・中・高校での講座を新たに最低3校増やす 2. 窓口事業所と管轄包括圏域の担当者と顔の見える関係づくり 3. アドバイザーの育成 4. 大規模災害時連携 5. 各種団体との連携の強化 6. 相談実績の管理と情報共有			
予算	1, 600千円 (補助金800千円)	会務運営		正副代表会議 (偶数月第1金曜日) 運営会議 (毎月第2金曜日 9:30～)
組織体制	代表1名 (会計1名)・副代表4名・監事2名・構成員15名 (構成員含む)			
活動	<p>1. 認知症サポーター講座 担当：細川・熊内・前原・今岡・近藤</p> <p>①南大内小学校5年生18名 6/27 新規 洛陽工業高校102名5回(7・12月)</p> <p>②八条中学校2年生104名 1/23 九条弘道小学校3年生23名 12/10</p> <p>③京都市中央看護保健専門大学61名 3/11 久世西保育園 年長26名 1/30</p> <p>講座実績) H24:37回 850名 (別紙参照)、H23:24回 730名、H22:28回 885名</p> <p>開催回数：平成24年度 市内1位・区内の回数も過去最大回数</p> <p>2. 認知症あんしん窓口 (※南区役所との協働) 担当：千木・出口</p> <p>①あんしんMAPの更新 年1回 5月更新・発行</p> <p>②車両用マグネットステッカーの作成 150枚作成 終了</p> <p>③窓口ステッカー・バインダーの作成 (追加) →不要</p> <p>④窓口事業所の拡大 43 (H24.1.1) ⇒ 47 (H24.5) ⇒ 51事業所 (H25.1)</p> <p>⑤相談マニュアルの更新 (年1回) →3月末実施 次年度窓口研修会で更新予定</p> <p>⑥みなサポそうさくネットをリリース H24.12</p> <p>3. 研修 担当：出口・古川・細川・高木・鈴木・庄田・岡山・熊内・前原・今岡</p> <p>①サポーターフォローアップ研修 年1回7月 (④と合同) 8/29</p> <p>②認知症相談アドバイザー研修 年3回8月・12月・2月 8・11・12・1月</p> <p>③認知症あんしん窓口研修 年2回5月・11月 8/29・12/10</p> <p>④認知症オープンセミナー 年1回7月 (①と合同) 10/12 220名</p> <p>⑤シンポジウムの開催 年1回3月 (総会含む) 3/10 65名</p> <p>4. 視察 担当：古川・庄田・岡山</p> <p>先駆的活動地域へ→左京区の認知症ケア活動情報収集のみ</p> <p>5. 会務 担当：千木・石井</p> <p>①正副代表会議 偶数月 第1金曜日 (4・6・8・10・12・2月) 2回</p> <p>②運営会議 毎月 第2金曜日 予定通り開催 12回</p> <p>③ブロック会議 3ヶ月に1回 第2金曜日 (4月・7月・10月・1月) 1回</p> <p>④総会 年1回 3月 (3⑤と合同) 3/10</p> <p>6. 広報関連 担当：千木・石井</p> <p>①活動だより発行 年2回 第1号(10月)・第2号(3月) ※区民向け</p> <p>②認知症関連情報の発信 ③に合わせて随時 予定通り発信</p> <p>③会議報告書の発信 月1回 ※窓口事業所向け 予定通り発信</p> <p>④フェイスブックの立ち上げ</p> <p>・日総研 相談員向け季刊誌 2月号 記事掲載</p> <p>・南区民だより 12/1号 ・京都新聞 10/8朝刊・10/13朝刊・1/31朝刊 ・毎日新聞 8/4朝刊</p> <p>7. 大規模災害時連携 (南区区役所との協働) 担当：石井・千木</p> <p>①マニュアル策定</p> <p>②災害時訓練の実施準備</p> <p>③災害時避難先MAPの作成</p> <p>京都市福祉避難所設置等状況を鑑み準備する 情報提供FAX登録終了 (事務局)</p> <p>8. 各種団体との協働 担当：石井・古川</p> <p>①南区介護サービス事業者等連絡調整会議 世話人 (平成23年11月～) 古川 →世話人：熊内</p> <p>②南区地域福祉推進会議 委員 (平成23年11月～) 石井</p> <p>③南区地域包括支援センター運営協議会 委員 (平成24年4月～) 石井</p> <p>・新千本ネットワーク→活動状況把握</p> <p>・下京区・南区認知症ケア地域連携協議会 10月セミナー後援・3月シンポジウム共催</p> <p>・下京西部医師会及び下京東部医師会 10月認知症セミナー後援・3月シンポジウム共催</p> <p>・南区地域包括支援センター 10月認知症セミナー後援・3月シンポジウム後援</p> <p>・京都府立洛南病院認知症疾患医療センター 10月認知症セミナー共催</p> <p>・龍谷大学短期大学部 10月認知症セミナー後援</p> <p>・認知症の人と家族の会 京都府支部 10月認知症セミナー後援・3月シンポジウム後援</p> <p>・南区家族介護者の会 (ちょっといっぷく会) 12月アドバイザー研修講師招聘</p> <p>9. その他</p> <p>・プライマリケア連合学会 第26回近畿地方会 11/25 口演</p> <p>☆南区独自の地域包括ケアの推進に向けて☆</p> <p>既存団体・ネットワークとの連携強化</p> <p>南区式地域包括ケアを推進すべく、区内にある各種団体等の連携を強化する→上記8参照</p>			
総括	活動資金をもち活動した初めての年度であったが概ね計画通りに進めることができている。年度内に市内で認知症の方が行方不明となり遺体で発見されたことを受け、みなサポそうさくねつを作成し、捜索協力できる仕組みづくりができたことは意義深く、リリース後には他区で認知症の方が行方不明者になったこと (1件) を受け、情報提供及び捜索協力を行った。また、南区補助金を受けたことで区民しんぶんでの記事掲載、マスメディアへの情報提供により新聞に記事掲載されたりと、積極的に活動を広報することができました。最後に、サポーター講座は前年を上回る回数とサポーター数となり、保育園での講座は幼児教育の一貫としても良い効果があると評価を受けました。今後もこどもに対する認知症サポーター講座開催を推進すると同時に、各種団体との協力・連携を図っていきたいと考えます。			